

植物(つながり種)														
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
1 スギナ	形	胞子を飛ばすため春に出てくる姿(胞子茎)は「ツクシ」と呼ばれ、食べられる。		●						●				
2 ハクモクレン(植栽種)	形	白い花が半開き状に上向きに咲く							●	●				
3 コブシ(植栽種)	形	春に葉のない木に白く大きな花が咲く。								●				
4 ヒガンバナ(植栽種)	色	9月中旬に赤い花びらが長い花の咲かせる。田畑に多く、秋に赤色の花が咲く。花が枯れたあとに葉が出てくる。		●			●		●			●		
5 ツルボ	形	秋に薄いピンクの小さい花を穂状に咲かせる		●							●	●		
6 チガヤ	形	穂は細長く直立し、最初は濃赤で、のちに穂が開いて白色になる。草地でよく見られる種。初夏にしっぽのような白い穂をつける。		●			●				●			
7 オギ	形	ススキに似ており、間違われることも多い。ススキと比べて株にならず、ある程度の間隔を保って広がる。			●	●						●		
8 ナンテン(植栽種)	形	葉は丸みがあり、先がとがる。冬に赤い実がたくさんつく。							●				●	
9 ムクノキ	形	葉はギザギザで、触ると紙やすりのようにざらざらする。公園などでもよく見られる。秋になると黒紫色に熟す実は甘味がある。	●		●				●			●		
10 エノキ	形	葉の形が左右非対称。昔から「縁の木」とされ、日本各地の神社で御神木としても大切にされてきた。	●		●				●			●		
11 ユキヤナギ(植栽種)	形	白色の花の塊が垂れ下がって咲く。公園に多く、春には垂れ下がった枝に白い花がたくさん咲く。							●	●				
12 アラカシ	形	葉はギザギザで光沢があり、帽子に横じま模様があるドングリが成る。木材にすると白いのが名前の由来。	●						●			●		
13 ヤマモモ(植栽種)	形	葉は丸みがあり、先がとがる。公園などにも植えられる。夏にできる赤い実は食べることができ、甘酸っぱい。	●						●		●			
14 カタバミ	形	黄色く先の丸い5枚の花弁とクローバーのような葉が特徴。実は小さなオクラのような形のものが上に向かってつく。	●	●			●		●	●	●			
15 スミレ	色	濃い紫色まれに白色の花をつける。葉は細長い楕円形で葉柄に翼がある。		●			●		●	●				
16 ナズナ	形	茎の先に集まるように白い小さい花を咲かせる。ハート型に近い逆三角形の実を茎から飛び出したようにつける		●			●			●				
17 キンモクセイ(植栽種)	香	庭などにも多く、秋に咲く小さなオレンジ色の花は強い香りがして、離れていても匂いがする。										●		
18 ホトケノザ	色	茎の周りを囲む台座のような葉と横から見ると馬の頭のように見える紫～ピンク色の花が特徴。日当たりのいい場所では一面に広がることもある。		●			●			●				

植物(つながり種)														
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
19 ムラサキサギゴケ	形	紫色の花。唇型の花で、上側の花弁は小さく、下側の花弁は大きく広がっている。下側の花弁の中心に黄色の斑点がある。		●			●			●				
20 ハハコグサ	形	全体的に毛が多く、茎や葉が白っぽく見える。先端の花の部分は黄色。		●			●			●				
21 ノゲシ	形	タンポポのような花が咲き、葉がギザギザ。		●			●		●					●
22 カンサイタンポポ	色	花は黄色。花のがくのような部分(総苞片)が、反り返らない。		●						●				
23 セリ	形	小さな白い花が塊になって咲く。葉はギザギザで独特の香りがある。			●	●					●		●	

昆虫類(つながり種)														
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
1 アオモンイトトンボ	色	小型のイトトンボ、細長い体つきで、腹端に水色の色彩が目立つ			●	●	●							●
2 ハグロトンボ	色	金属光沢のある緑色の体色に、黒色の翅が特徴的。大きさ57-67mm。チョウのようにひらひらと舞うように羽ばたく。			●	●	●				●			
3 クロスジギンヤンマ	色	大型のトンボで、青色と薄緑色の配色が特徴的。ギンヤンマと比べて、胸部に黒い線が2本入るのが特長。オスは複眼、胸部、腹部の斑紋がとても鮮やかな水色になる。				●				●				
4 ギンヤンマ	色	大型のトンボで、青色と薄緑色の配色が特徴的。オスは腹部の根元だけが青い。胸部は薄緑色で黒線はない。とても早く飛び、捕まえにくい。			●	●					●			
5 ショウジョウトンボ	色	オスは全身が真赤で、メスは茶色くて目立たない。			●	●					●	●		
6 シオカラトンボ	色	オスとメスで色彩が異なる。目は薄緑色。オスは腹(前半)が白く粉を吹く。大きさ50-55mm。オスは水色で、メスは黄色く「ムギワラトンボ」とも呼ばれる。			●	●	●							●
7 アキアカネ	色	赤とんぼであるが、腹部は赤くならない。大きさ33-46mm。平地で生まれ、夏は涼しい山地で暮らし、秋にまた戻ってくる。			●	●						●		
8 オオカマキリ	形	大型のカマキリ。翅が紫色に着色。大きさ70-95mm。チョウやハチなどを捕食するため、花の近くで待つこともある。		●								●		
9 クビキリギリス	鳴声	春に「ジーー」と大きな声で鳴き始める。		●						●				
10 ニシキリギリス(キリギリス)	鳴声	チョン、ギースという鳴き声に特徴がある。		●							●			
11 カンタン	鳴声	ルルルルル、という鳴き声に特徴がある。		●							●	●		
12 マツムシ	鳴声	チンチロリンという鳴き声に特徴がある。		●										
13 エンマコオロギ	鳴声	ココロコロリーという鳴き声に特徴がある。大きさ25-30mm。秋、成虫のオスは「ココロコロリー」な鳴く。		●					●			●		
14 カネタタキ	鳴声	鐘を叩くような鳴き声に特徴がある。	●						●		●	●		
15 ショウリョウバッタ	形	大型のバッタで存在感がある。頭がとがる。大きさはオス5cm、メス15cm。メスは日本のバッタの中で一番大きい。		●							●	●		
16 トノサマバッタ	形	大型のバッタで存在感がある。頭が丸い。大きさ35-65mm。河川敷や公園など明るい草地で見られる。羽音をたてて飛び。		●							●	●		
17 アブラゼミ	鳴声	シワシワシワという鳴き声に特徴がある。おおきさ56-60mm。夏に「ジー」と鳴く。はねに色のあるゼミは世界でも珍しい。	●						●		●			
18 ヒグラシ	鳴声	カナカナカナという鳴き声に特徴がある。	●											
19 アメンボ	形	小さな体から、長い脚が広がる。体長11-16mm。足先の毛の表面張力を利用して水面に浮かんでいる。			●	●	●							●
20 マツムムシ	形	弾丸型の体で、背面を上にして水面近くにとまる。体長11-14mm。池などで見られる種。水面近くを背泳ぎで泳ぐ。			●	●								●

昆虫類(つながり種)

	種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
21	イチモンジセセリ	色		●					●					●
22	ヤマトシジミ本土亜種	色		●					●					●
23	コムラサキ	色	●											●
	ゴマダラチョウ本土亜種	色	●											●
24														
25	コムシジ本州以南亜種	色	●											●
	アオスジアゲハ	色	●						●					
26														
	ツマキチョウ本土亜種	色		●						●				
27														
	コクワガタ	形	●											●
28														
29	シロテンハナムグリ	色	●	●										●
30	カブトムシ	形	●								●			
31	タマムシ	色	●											●
32	ヒメボタル	色			●					●				
33	セグロアシナガバチ本土亜種	色							●		●			
34	キムネクマバチ	色							●	●				●

鳥類(つながり種)

[illegible]

魚類(つながり種)

	種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
1	ニホンウナギ	形 体が細長く、体がめめる。川と海を行き来する種。乱獲や河川の整備の影響などで数が減っている。			●			●						●
2	ドジョウ	形 体が細長く、口の周りにひげがある。水辺環境を代表する種。大きさ20cmほど。口のまわりのヒゲは全部で10本ある。			●	●	●							●
3	ナマズ	形 体が太い。口の周りにひげがある。水辺環境を代表する種。大きさ60cmほど。ひげは成長すると6本から4本になる。			●	●	●	●						●
4	アユ	色 サケのような顔つきで、体系は流線型。大きさ10-30cm。春から夏にかけて川を遡る姿がみられる。			●						●	●		
5	ボラ	形 体を上から見ると頭部が幅広でエラから尾に向けて細くなっていく。河口・海環境を代表する種。大きさ50cmほど。大群になり川を遡ることがある。			●			●		●				
6	ミナミメダカ	形 小型で目が大きい(類似種がある)。大きさ40mm。川のほかに水田や周辺の農業用水路にも生息している。			●	●	●							●
7	スズキ	形 大型で、ヒレにトゲが目立つ。河口・海環境を代表する種。大きさ20-60cm。大きさで呼名が変わる出世魚。			●			●					●	
8	クロダイ	色 体色が銀色で、淡い横縞が目立つ場合がある。						●		●				

両生類(つながり種)

種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・ 水際	田畑・ 水路	海・運河	住宅地・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
1 ニホンアマガエル	鳴声	目の前後に黒帯がある。大きさ20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。				●	●				●			
2 ヌマガエル	色	土色の体色で、腹面が白色。大きさ30-50mm。腹側は白い。水田を代表する種だが、畑や草原などにもいる。					●				●			

爬虫類(つながり種)														
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
1 ニホンイシガメ	形	甲羅(背中)の稜が1本。体長14-20cm。水辺環境を代表する種。環境破壊などにより減少している。			●	●					●			
2 ニホンヤモリ	形	トカゲ形で、吸盤が目立つ。体長10-14cm。夜行性で、灯りに集まる虫を食べにくることもある。	●								●			
3 ニホンカナヘビ	形	トカゲ型で、全身が茶色で、光沢がない。大きさ18-25cm。晴れた日は石や枝の上で日向ぼっこをする姿が見られる。	●	●							●			
4 アブラコウモリ	形	夜に空を飛んでいる姿を見ることができる。コウモリには複数の種類があるが、尼崎市内で見られる種はほぼ本種とみなせる。					●		●					●

その他無脊椎動物(底生生物)(つながり種)														
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性				
			樹林	草地	河川	水辺・水際	田畑・水路	海・運河	住宅地・街路	春	夏	秋	冬	なし
1 カワニナ	形	巻貝で、形は紡錘形。大きさ30mm ほど。流れの穏やかな川を好み、汚い川にはすめない。			●	●								●
2 テナガエビ	形	手が長いエビ。藻川でよく見られる種。大きさ90mmほど。2本の長いあしが特長。			●									●
3 スジエビ	形	体色は透明で、体に黒色の筋が入る。水域でよく見られる種。大きさ50mm。体色は透明で、非常に肉食性が強い。			●	●								●
4 モクズガニ	形	ハサミに毛が密生している。川と海を行き来する種。大きさ40-80cm。ハサミに毛が密にはえている。			●	●								●